

令和5年度  
社会福祉法人あま市社会福祉協議会  
事業報告書

自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日

■ 報告概要

私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症による日常生活の制限が緩和され、ウィズコロナの舵取りが本格化し、日本においてもマスク着用は個人の判断となるなど、コロナ禍前の生活に移行しようとしています。

一方で、エネルギー価格や物価の高騰は私たちの日常生活を圧迫する事態となっている状況において、本会では、地域福祉を推進する中核的な機能を持つ組織として、あま市や関係機関と連携しながら住民参加による地域福祉活動を展開してきました。

令和5年度は、少しずつですが来場型のイベントや行事を実施し始めることで、本会が喫緊に取り組むべき課題であるコロナ禍で分断された市民のつながりの再構築や「孤立」、「孤独」を感じる市民への寄り添い、地域での活動が制限されたことによる心身の落ち込みへの対応について、特に、コミュニティへの関わりが希薄になりがちな福祉的弱者の皆さんに対して、きめ細かい「伴走型」の支援を続けるとともに、「ひとり親家庭」や「ヤングケアラー」などへの関連支援として、「フードドライブ・フードパントリー事業」を実施し、一般家庭や企業からの協力により、食材支援等に活かすことができました。

更に、重点目標に掲げました「成年後見制度に関する事業」について、7月より法人後見業務「サポートあま」として支援事業を開始し、日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）と併せて、市民の方が安全安心に生活できる支援体制の確保に努めて参りました。

もう一つの重点目標として、「第3次あま市地域福祉計画・あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定しました。この計画は、本市における社会福祉の推進を図る方向を示す「羅針盤」であり、私たちが福祉の分野で活動する方向性を示す重要な要素となる計画です。また、常に意識すべき社会の最も弱い立場である「高齢者」、「障がい者」や「経済的に困難な家庭」など、支援が必要な人々の声を聴き、権利と尊厳を守ることが重要であり、コロナで途切れたつながりの再構築とともに新たに出会った人々とのつながりを大切に、持続可能で多様性と包摂性のある「地域共生社会」の実現に向けて努めました。

なお、昨年度に引き続き、あま市において不足している介護・障がい福祉分野のために「介護職員初任者研修」を実施し、多くの福祉人材を育成するなど人材確保に努めましたが、介護保険事業においてコロナ禍による利用者不足などにより、安定的な経営が困難となり、やむなくデイサービスセンター（通所介護事業）が3月末で廃止に至るなど、アフターコロナを見据え、改めて本会の果たすべき役割について認識する1年となりました。

## ■ 報告内容

### (1) 企画・広報事業

#### ①まるっとあま（社協だより）

市民に対して本会の活動状況及び事業等の情報を発信するとともに、より見やすく、親しみやすい情報誌の作成に努めました。

◆発行 年4回（4月・7月・10月・1月）

◆作成部数 147,550部

内訳	4月	36,850部	7月	36,900部
	10月	36,900部	1月	36,900部

令和4年度

作成部数 146,970部

内訳	4月	36,650部	7月	36,670部
	10月	36,800部	1月	36,850部

#### ②ホームページ（スマートフォン対応）

随時更新することで、日頃の社協活動をはじめ、福祉に関する情報提供を行うことや各種申請書等もダウンロードできるように利便性の向上に努めました。

◆閲覧件数 10,373件

令和4年度

閲覧件数 11,560件

#### ③SNSの活用

LINE公式アカウントを使用し、登録をされている方々に本会の活動状況及び事業等の福祉の情報を積極的に発信し、認知度の向上や事業参加の促進等に努めました。

◆登録者件数 951件

令和4年度

登録者件数 877件

#### ④マスコットキャラクターの活用

マスコットキャラクター、「あーちゃん」と「まーちゃん」を作成し、ホームページや広報誌にて活用し、あま市社会福祉協議会の認知力の向上を図りました。

#### ⑤福祉出前講座の推進

出前講座を通じて、本会の事業や取組に対し職員を講師として派遣を行い、地域福祉への関心を高め、市民との協働による地域福祉活動と啓発活動の推進を図ることを目的に実施しました。

◆出前回数 6回

令和4年度

出前回数 4回

⑥第3次あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画の策定

第3次あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画(令和6年度から令和10年度までの5年間)を行政が策定する第3次あま市地域福祉計画と連携し、一体的に策定しました。

◆地域懇談会の開催へ参画

期 日 第1回 6月10日(土) 参加者25名  
第2回 6月17日(土) 参加者23名  
第3回 6月24日(土) 参加者25名

場 所 あま市役所

◆地域福祉活動計画推進委員会の開催

期 日 第1回 9月29日(金)  
第2回 12月19日(火)  
第3回 2月22日(木)

場 所 あま市役所

(2) 地域福祉推進事業

①会員募集

地域福祉の推進を図るため、必要な事業財源を確保することを趣旨として、強化月間(6月に法人会員年額1口3,000円、7月に普通会员年額1口500円)として実施しました。法人会員募集については、銀行振込による依頼や職員が訪問して加入に努めました。また、普通会员募集については7月、10月に各区会を通じて協力を依頼しました。

◆法人会員 501件 2,539,510円  
普通会员 5,955件 4,640,000円  
令和4年度  
法人会員 473件 2,458,000円  
普通会员 6,773件 4,832,867円

②配食サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、食事を作ることが困難な方を対象に、毎週月曜日から土曜日(週6回まで利用可能)までに1食400円の負担金にて弁当の宅配を行い、合わせて安否確認を実施しました。

◆登録者数 103人 ◆実人数 77人(令和6年3月31日)

◆配食数 合計 12,169食

令和4年度

登録者数 76人 実人数 66人(令和5年3月31日)

配食数 合計 9,425食

③寝具洗濯乾燥消毒サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、老衰、心身の障がい及び傷病等の理由により、寝具類の衛生管理が困難な方を対象に、費用無料で寝具の乾燥・消毒を年4回（4月・8月・10月・2月）、洗濯（※1回につき掛布団・敷布団・毛布4枚まで）を年2回（6月・12月）実施しました。

◆登録者数 94人 利用件数 314件

令和4年度

登録者数 79人 利用件数 270件

#### ④車いすの貸出

市内に居住する他制度を利用できない方で、傷病等により車いすを一時的に必要とする方を対象に、1か月を期限として無料で車いすを貸出しました。

◆利用件数 214件

内 訳 本所 103件 美和支所 78件 七宝支所 33件

令和4年度

利用件数 240件

内 訳 本所 108件 美和支所 75件 七宝支所 57件

#### ⑤福祉教育の推進

福祉教育を推進するため、市内の小学校、中学校、高等学校を社会福祉協力校に指定し、児童・生徒が車いす、手話、点字等の体験を通じて学ぶ福祉実践学習の機会を提供すると共に、新たに地域の介護保険事業所に高齢者疑似体験講座の実施と、甚目寺中学校での職業講話に協力をいただきました。

昨年度に続き、要望のあった小・中学校において社会福祉協議会や災害ボランティアセンターの役割、機能について講演を実施しました。

◆社会福祉協力校数

小学校 12校 中学校 5校 高等学校 2校

◆福祉実践教室延べ参加者数 2,719人

小学校 1,613人 中学校 595人 高等学校 511人

6月14日（水） 美和中学校 218人

6月16日（金） 美和東小学校 47人

6月28日（水） 七宝北中学校 57人

7月 5日（水） 甚目寺東小学校 103人

10月13日（金） 七宝小学校 118人

10月17日（火） 甚目寺西小学校 90人

10月19日（木） 美和東小学校 47人

10月24日（火） 宝小学校 63人

10月25日（水） 五条高等学校 314人

11月 2日（木） 甚目寺小学校 81人

11月 7日 (火)	七宝中学校	125人
11月 8日 (水)	甚目寺中学校	195人
11月17日 (金)	正則小学校	143人
11月29日 (水)	美和小学校	172人
11月30日 (木)	甚目寺南中学校	202人
12月 1日 (金)	甚目寺南小学校	244人
12月 6日 (水)	秋竹小学校	71人
12月 8日 (金)	伊福小学校	120人
12月11日 (月)	美和高等学校	197人
12月13日 (水)	七宝小学校	112人
12月15日 (金)	篠田小学校	202人

令和4年度

福祉実践教室延べ参加者数 2,417人

小学校 1,105人 中学校 820人 高等学校 492人

#### ⑥福祉団体の育成・援護

市内6団体に対して支援を行い、活動の強化及び向上を図りました。

- ◆団体名 ・老人クラブ連合会 ・子ども会連絡協議会
- ・身体障害者福祉協会 ・心身障害児者保護者会
- ・母子寡婦福祉会 ・遺族連合会

#### ⑦たすけ愛協力店

地域福祉活動の推進にご協力いただける市内の店舗、事業所等を「たすけ愛協力店」と位置付け、身近なところに福祉に関する情報やたすけ愛チャリティボックス等を設置することにより、広く市民の皆様へ福祉の理解を深めていただくことを目的として実施しました。

◆設置件数 39件

令和4年度

設置件数 42件

### (3) 共同募金配分事業

#### ①ふれあい・いきいきサロンの支援

地域に居住する高齢者の方等が、生きがい・健康づくりを気軽に行うことができ、地域交流やたすけあい活動を育む活動拠点として、サロン活動を推進するために必要な相談支援及びサロン運営費の補助を行いました。また、大府市社会福祉協議会とのサロン実践者交流会を開催して情報交換を行いました。

◆サロン数 29会場

内 訳	甚目寺地区	7会場	美和地区	10会場
	七宝地区	12会場		

令和4年度

サロン数 27会場

②ボランティア団体への補助

市内における、無償福祉ボランティアの活動支援を目的として、補助金を交付しました。

◆補助対象 無償福祉ボランティア団体（9団体）

○手話サークル七宝                      ○手話サークルじもっ子

○手話・あま                              ○手話グループ美和

○手話サークルさくらそう      ○音訳あま

○点訳あいうえお

○美和おはなしグループグー・チョコキ・パー

○特定非営利活動（NPO）法人あま市防災ネット

令和4年度

補助対象 無償福祉ボランティア団体（9団体）

③車いす専用車の貸出

傷病等により歩行や車両の乗り降りが困難なあま市内に住所を有する方、または親族があま市に住所を有する方に対し費用無料で車いす専用車の貸出を行い、日常生活の便宜や社会参加の促進を図りました。

◆利用件数 131件

内 訳 通院 86件 その他外出 45件

令和4年度

利用件数 98件

④親子防災体験事業

小・中学生及びその保護者を対象とし、あま市内在住・在勤の方へ防災に関する知識を身につけ意識を高めるとともに、体験を通して参加者相互の交流を深めることを目的に実施しました。

◆期 日 8月5日（土）      ◆場 所 甚目寺総合体育館

◆参加者数 57人（大人24人・子ども33人）

⑤心身障がい児・者クリスマス会

市内に居住する療育手帳所持者を対象に、参加者相互の交流及び親睦を深めることを目的にクリスマス会を開催しました。

◆期 日 12月9日（土）      ◆場 所 甚目寺総合体育館

◆参加者数 98人

⑥あまのかけあしS（移動援助サービス事業）

市内に居住する75歳以上の単身世帯、高齢者世帯であり、単独で外出が困難で、家族や親族の協力等を得ることができない方で利用時に介助者の同行が可能な方を対象に、市内を実施範囲として月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時（3時間以内を制限）の月2回までを限度として、

ボランティアによる移動援助サービスを実施しました。

◆登録者数 13人 ◆利用数 73回（延べ）

令和4年度

登録者数 24人 利用数 86回（延べ）

⑦小・中学校入学児童生徒への祝品

《小学校入学児童祝品》

市内における小学校へ入学する児童を対象に、学校生活において必要な文房具類を祝品として支給しました。

◆支給件数 776件

令和4年度

支給件数 747件

《中学校入学生徒祝品》

ひとり親世帯等を支援するため、市内外における中学校へ入学するひとり親世帯等の生徒を対象に「図書カード」を祝品として支給しました。

◆支給件数 23件

令和4年度

支給件数 32件

⑧福祉人材育成事業

介護・障がい福祉分野における福祉人材確保のため、未経験介護職希望者に対し、介護職員初任者研修を行い、あま市内における福祉人材不足の解消と就労の機会を提供しました。

◆期 日 11月4日（土）から2月17日（土）の15日間

◆受講者数 20人

令和4年度

受講者数 13人

⑨福祉啓発講演会

「地域共生社会の実現に向けて」とは何か、そして今、注目を集めている「こども食堂」、「フードドライブ」への取り組みを学び、地域において私達（市民・企業）にできることを考える機会として開催しました。

◆期 日 8月8日（火）

◆場 所 七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール

◆講 師 日本福祉大学 学長 原田 正樹 氏

◆参加者数 111人

⑩フードドライブ・フードパントリー事業

生活困窮にある世帯への支援として、「フードドライブ」、「フードパントリー」を実施しました。

また、食料品の配布時にアンケート調査を行い、生活福祉資金貸付制度や民生委員・児童委員の支援活動につなげました。

- ◆期 日 12月16日(土)
- ◆場 所 甚目寺総合福祉会館
- ◆フードドライブ(食品提供)実績  
食料品 1,449個(429品目)、精米130kg
- ◆フードパントリー(食品配布)実績  
76世帯と市内こども食堂3か所及びあま市母子寡婦福祉会へ配布

#### (4) ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方とボランティア活動に来てほしい方を繋げ、ボランティア活動の機会を広く提供すると共に、ボランティア活動の輪を広げ、情報の提供や各種講座を開催し、地域支援活動に関するボランティア相談や支援を行いました。

- ◆登録者数 個人 144人 団体 110団体(1,972人)  
令和4年度  
登録者数 個人 131人 団体 107団体(1,978人)

##### ① ボランティアセンター運営委員会

ボランティアセンターの事業推進及び機能充実を図るため、運営委員会を設置し、ボランティア事業について協議をするとともに、今後のボランティアセンターにおける方向性等を検討し、ボランティア活動の活性化に努めました。

- ◆運営委員会 3回開催
- ◆期 日 第1回 5月12日(金) 第2回 9月5日(火)  
第3回 2月6日(火)
- ◆会 場 甚目寺総合福祉会館  
令和4年度  
運営委員会 3回開催  
期 日 第1回 5月11日(水) 第2回 9月5日(月)  
第3回 2月3日(金)  
会 場 甚目寺総合福祉会館

##### ② ボランティア養成講座の開催

あま市で必要とされるボランティア活動の推進を図るため、各講座では、基本的な知識及び技術を学ぶ機会を提供しました。

##### ○ ボランティア養成講座

- ◆期 日 8月9日(水) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館
- ◆受講者 21人

##### ○ 手話奉仕員養成講座

- ◆期 日 5月13日(土) から2月10日(土) の34日間
- ◆場 所 甚目寺総合福祉会館及び大治町総合福祉センター希望の家



◆受講者 20人

○移動援助サービス協力員養成講座

◆期 日 12月2日(土) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講者 5人

③安心支え合いネットワーク事業

市内に居住する65歳以上の単身世帯、高齢者世帯を対象に「見守り、声かけ、お助け、安心電話」の活動からなる、ボランティア活動を実施しました。

◆ネット員登録者 105人

◆利用登録者 134人

◆利用サービス別人数 ・見守り 27人 ・声掛け 24人  
・お助け(ゴミ出し・買い物支援) 10人  
・安心電話 73人

令和4年度

ネット員登録者 141人

利用登録者 181人

利用サービス別人数 ・見守り 36人 ・声掛け 33人  
・お助け(ゴミ出し・買い物支援) 23人  
・安心電話 89人

④ボランティアフェスティバルの開催

あま市民活動センターとの共同運営による「第7回あまのわ(社協ボランティアフェスティバル×市民活動祭)」を開催し、ボランティア団体及び市民活動団体による活動紹介・展示コーナーをはじめ、ミニ講座、物販コーナー等を催し、住民参加によるボランティア啓発活動を行いました。

◆期 日 10月21日(土)

◆来場者数 約3,600人 ◆会 場 美和文化会館

令和4年度

期 日 10月22日(土)

来場者数 約2,400人 会 場 甚目寺総合体育館

○西尾張ブロックボランティアフェスティバルへの参画

西尾張ブロック内のボランティア交流や活動紹介などをはじめ、地域を超えたつながりや周知啓発を図り、また、新たな担い手発掘や活性化を目的とした「西尾張ブロックボランティアフェスティバル」が弥富市にて開催され、運営等に参画しています。

◆期 日 1月21日(日) ◆会 場 弥富市総合社会教育センター

◆参加者数 ボランティア団体(11団体 23人)

令和4年度

期 日 1月22日(日) 会 場 すいとぴあ江南

参加者数 ボランティア団体（1団体 1人）

⑤ボランティア保険の加入

ボランティア保険加入者の活動中におけるケガ等による傷害保険・賠償保険の受付窓口を行いました。

◆ボランティア活動保険

加入者数 1,899人（団体 144団体 個人 64人）

◆ボランティア行事用保険

加入件数 45件

◆事故報告 3件

令和4年度

ボランティア活動保険 加入者数 1,899人

ボランティア行事用保険 加入件数 35件

事故報告 1件

⑥災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害ボランティアセンターは、被災した地域の社会福祉協議会や関係団体が協働して設置し、ボランティアの受け入れや人数調整・資機材の貸出、活動報告の役割など運営に関わります。

日本各地での水害・地震による被災を踏まえ、職員全員を対象として座学及び設置・運営訓練を実施しました。

◆期 日 3月2日（土） ◆場 所 美和総合福祉センター

◆参加者数 43人

令和4年度

期 日 3月22日（水） 場 所 甚目寺総合福祉会館

参加者数 17人

（5）介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）

利用者が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう介護支援専門員（ケアマネジャー）が心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、定期的にモニタリングを行い、適宜、事業者や関係機関との連絡・調整を行うと共に、介護サービスを利用するにあたり、介護保険認定調査を本人や家族への面接により行い、心身状況の聞き取り調査を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

種 別 居宅介護支援・介護予防支援・介護保険・要介護認定訪問調

査・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

◆延べ利用者 2, 523人

◆介護保険認定調査数 115人 ◆休日・夜間対応件数 10件

令和4年度

延べ利用者 2, 572人

介護保険認定調査数 82人 休日・夜間対応件数 5件

②訪問介護（ホームヘルプサービス）

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴等の生活の支援（生活支援）を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、必要と認められる場合は休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

種 別 訪問介護・第1号訪問事業（訪問従来型サービス・訪問基準緩和型サービス）・あま市ホームヘルプサービス

◆延べ利用者数 2, 889人

令和4年度

延べ利用者数 3, 284人

③通所介護（デイサービスセンター）

通所介護事業所（甚目寺デイサービスセンター・美和デイサービスセンター・七宝デイサービスセンター）は、令和5年10月1日より事業を休止し、令和6年3月31日に事業所を廃止しました。

◆延べ利用者数 3, 657人（4/1～9/30）

甚目寺デイサービスセンター 808人

美和デイサービスセンター 2, 130人

七宝デイサービスセンター 719人

令和4年度

延べ利用者数 9, 608人

甚目寺デイサービスセンター 2, 432人

美和デイサービスセンター 5, 417人

七宝デイサービスセンター 1, 759人

(6) 地域包括支援センター（委託型）

地域で暮らす高齢者やその家族が安心して暮らせるように、福祉、医療、介護等の様々な面から総合的な支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会地域包括支援センター

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

事業場所 甚目寺総合福祉会館・美和総合福祉センターすみれの里・  
七宝老人福祉センター

#### ①指定介護予防支援業務

介護保険において、予防給付の対象となる要支援1・2と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防支援を実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、75件（市内28件・市外47件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用者数 6, 126人

令和4年度

延べ利用者数 5, 861人

#### ②介護予防ケアマネジメント業務

介護保険において、介護予防・生活支援サービス事業の対象となる要支援1・2、事業対象者と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防ケアマネジメントを実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、75件（市内28件・市外47件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用者数 3, 274人

令和4年度

延べ利用者数 3, 287人

#### ③総合相談支援事業

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援しました。

◆延べ相談件数 10, 090件

令和4年度

延べ相談件数 11, 141件

#### ④権利擁護事業

高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、高齢者虐待や消費者被害の相談対応・防止啓発、成年後見制度の利用支援・周知等を市職員及び関係機関と連携し実施しました。

◆延べ相談件数 92件

令和4年度

延べ相談件数 115件

#### ⑤包括的継続的ケアマネジメント事業

(1)サービス事業者連絡会

サービス事業者間のネットワークづくり及び、適切なサービス提供について研修するとともに、介護保険制度や社会資源についての情報提供や情報交換を行い、介護に携わる人々のスキルの向上を目指しました。

◆期 日 5月16日（火）～3月19日（火）全6回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加者数 209人

令和4年度

延べ参加者数 165人

(2)居宅介護支援事業所交流会

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジャーのネットワークづくり及びケアマネジメント業務に関する研修会を通して情報提供や情報交換を行い、スキルの向上を目指しました。

◆期 日 4月18日（火）から2月20日（火）までの全6回並びにオンデマンドによる講義を全1回

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆延べ参加者数 227人

令和4年度

延べ参加者数 171人

(3)地域ケア個別会議

個別ケースの課題検討を行い、各分野の方々の理解と多職種間の連携を深め、その中で地域課題の発見等につながるよう会議を開催しました。

◆延べ検討件数 13件

令和4年度

延べ検討件数 13件

(7)生活支援体制整備事業（委託型）

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、高齢者の身近な生活を支援する環境づくりを推進しました。

①相談・活動件数

◆延べ件数 607件

令和4年度

延べ件数 611件

②周知啓発活動

◆生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）年4回

◆社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知

◆出前講座：5回 出張講座：1回

令和4年度

生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）年3回  
社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知  
出前講座：2回

### ③協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場の整備を行う。

(1)第2層協議体(七宝地区：5回・美和地区：5回・甚目寺地区：5回)

(2)協議体合同交流会

◆期 日 3月13日(水) ◆場 所 あま市役所

◆参加者数 42人

(3)視察研修・勉強会

○移動支援サービス等についての意見交換会

◆期 日 2月29日(木) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加者数 職員5人、市役所職員4人

(4)協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 5件(伊福地区)  
令和4年度

(1)第1層協議体(あま市全域)

期 日 5月23日(月)

場 所 甚目寺総合福祉会館

(2)第2層協議体(七宝地区：4回・美和地区：6回・甚目寺地区：4回)

(3)協議体合同交流会

(第1回)

期 日 6月29日(水) 場 所 甚目寺総合福祉会館

参加者数 33人

(第2回)

期 日 2月22日(水) 場 所 七宝産業会館

参加者数 29人

(4)先進地視察及び交流会

○犬山市2層協議体合同交流会視察

期 日 10月29日(土)

場 所 犬山市楽田ふれあいセンター

参加者数 職員4人、市役所職員1人

○津島市地域のつながり講演会視察

期 日 3月20日(月) 場 所 津島市文化会館

参加者数 職員1人

(5)協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 6件(伊福地区)

(8) 指定管理受託事業

※就労継続支援B型及び生活介護は、障がい福祉サービスに記載しておりません。

①福祉センター

総合的な福祉サービスを提供するとともに、市民の健康の増進と福祉活動を助長し、社会交流及び福祉の向上を図り、各種相談、入浴、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を行いました。

名 称 美和老人福祉センター・七宝老人福祉センター

開 館 日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用者数 美和老人福祉センター 18,625人  
七宝老人福祉センター 18,057人

令和4年度

延べ利用者数 美和老人福祉センター 17,275人

七宝老人福祉センター 20,160人

②地域福祉センター

甚目寺総合福祉会館内において、地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた各種相談、入浴・給食サービス等の活動の場を提供し、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を行いました。

名 称 地域福祉センター（あま市甚目寺総合福祉会館内）

開 館 日 月曜日～土曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

開館時間 午前8時30分～午後5時15分

利用時間 午前9時～午後5時

◆延べ利用者数 16,759人

令和4年度

延べ利用者数 14,677人

(9) 障害相談支援事業

市からの受託による一般相談を行うと共に、指定特定相談支援事業、指定障害児相談支援事業として、身体・知的・精神に障がいのある方及び難病の方等、また、その家族や支援者等も対象とし、日常生活又社会生活を安心して営むことができるよう、相談等の支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所

事業内容 ・総合的な相談支援

・福祉サービスの利用援助及びサービス等利用計画の作成

・社会資源を活用するための支援

・社会生活力を高めるための支援

- ・生活の継続に必要な直接的な支援
- ・専門機関との連携・紹介
- ・障害者総合支援協議会への協力

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ相談件数 4, 382件

◆相談実人数（内訳）

身体障がい	（障がい者	113人	障がい児	17人）
重症心身障がい	（障がい者	18人	障がい児	10人）
知的障がい	（障がい者	176人	障がい児	120人）
精神障がい	（障がい者	230人	障がい児	29人）
発達障がい	（障がい者	12人	障がい児	45人）
高次脳機能障がい	（障がい者	5人	障がい児	0人）
難病	（障がい者	19人	障がい児	5人）
その他	（障がい者	1人	障がい児	2人）

令和4年度

延べ相談件数 4, 484件

相談実人数（内訳）

身体障がい	（障がい者	106人	障がい児	20人）
重症心身障がい	（障がい者	1人	障がい児	2人）
知的障がい	（障がい者	157人	障がい児	136人）
精神障がい	（障がい者	202人	障がい児	14人）
発達障がい	（障がい者	12人	障がい児	48人）
高次脳機能障がい	（障がい者	5人	障がい児	0人）
難病	（障がい者	16人	障がい児	4人）

◆障害支援区分認定調査件数 138人

令和4年度

障害支援区分認定調査件数 85人

◆あま市・大治町障がい者支援協議会への協力

障がいのある方々が地域で豊かに暮らし続けられるよう、関係機関が連携を図ることにより、地域における障がい者等への支援体制に関する情報を共有し、関係機関の連携の緊密化を図るとともに地域の実情に応じた体制の整備や課題への取り組みについて協議を行いました。協議会では中核的な相談支援事業所として、関係機関に対する助言や運営補助等の役割を担い、定期的な協議や研修会を実施しました。

○障がい者支援協議会

・検討会議 6回

○相談支援部会



- ・ 検討会議 4回 ・ 事業所交流会 12回
- 就労支援部会
  - ・ 検討会議 4回 ・ 事業所交流会及び研修会 7回
- 子ども支援部会
  - ・ 検討会議 4回 ・ コア検討会議 6回 ・ 事業所交流会 3回
- 生活支援部会
  - ・ 検討会議 4回 ・ コア検討会議 4回 ・ 事業所交流会 1回

(10) 障害福祉サービス事業

①就労継続支援B型

雇用されることが困難な知的障がいの方に社会参加の場を提供し、生産活動及び生活指導等の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（主たる事業所）

あま市美和ひまわり作業所（従たる事業所）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用者数 6, 021人

くすのきの家 3, 589人

美和ひまわり作業所 2, 432人

令和4年度

延べ利用者数 6, 246人

くすのきの家 3, 819人

美和ひまわり作業所 2, 427人

②生活介護

常時介護等を必要とする知的障がいの方が、安定した生活を営めるように、創作活動や日常生活訓練を中心としたプログラムを提供し、介護や日常生活上の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（西館）

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

提供時間 午前9時～午後4時

◆延べ利用者数 1, 537人

令和4年度

延べ利用者数 1, 854人

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援

障がい福祉サービスの居宅介護として食事・入浴・排泄介助の身体介護サービスや調理・清掃・洗濯の家事援助サービス等を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日～金曜日（ただし、必要と認められる場合は、休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分～午後5時15分

◆延べ利用者数 1, 174人

令和4年度

延べ利用者数 1, 545人

④基準該当生活介護

基準該当生活介護事業所（甚目寺デイサービスセンター）は、令和5年10月1日より事業を休止し、令和6年3月31日に廃止しました。

◆延べ利用者数 15人（4/1～9/30）

令和4年度

延べ利用者数 49人

⑤地域活動支援センター

基準該当生活介護事業所（甚目寺デイサービスセンター）は、令和5年10月1日より事業を休止し、令和6年3月31日に廃止しました。

◆延べ利用者数 50人（4/1～9/30）

令和4年度

延べ利用者数 100人

(11) 総合相談・生活支援事業

①心配ごと相談

民生委員・児童委員・主任児童委員が相談員となり、第1木曜日に美和総合福祉センターすみれの里、第2木曜日に甚目寺総合福祉会館、第3木曜日に七宝老人福祉センターにおいて、午前10時から正午までの時間帯で広く地域住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、社会資源を有効に活用できるように適切な助言を行いました。

◆延べ相談件数 12件

甚目寺総合福祉会館 7件

美和総合福祉センターすみれの里 4件

七宝老人福祉センター 1件

主な相談内容：家族・騒音・近隣トラブル等

令和4年度

延べ相談件数 18件

甚目寺総合福祉会館 10件

美和総合福祉センターすみれの里 7件

七宝老人福祉センター 1件

また、愛知県弁護士会に委託し、相談者に対して予約制で、第1・3

木曜日に甚目寺総合福祉会館、第2木曜日に美和総合福祉センターすみれの里、第4木曜日に七宝老人福祉センターにおいて、専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談件数 169件

甚目寺総合福祉会館 88件

美和総合福祉センターすみれの里 40件

七宝老人福祉センター 41件

主な相談内容：財産・相続・住宅・離婚等  
令和4年度

延べ相談件数 163件

甚目寺総合福祉会館 86件

美和総合福祉センターすみれの里 41件

七宝老人福祉センター 36件

②司法書士による相続・登記相談

愛知県司法書士会と共同主催にて事業を実施し、相談者に対して予約制で、奇数月の第4木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、偶数月の最終木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、奇数月の第2木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談件数 57件

甚目寺総合福祉会館 20件

美和総合福祉センターすみれの里 19件

七宝老人福祉センター 18件

主な相談内容：相続・登記・民事一般等  
令和4年度

延べ相談件数 42件

甚目寺総合福祉会館 13件

美和総合福祉センターすみれの里 18件

七宝老人福祉センター 11件

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活に不安を抱える認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者の方に対して、専門員及び生活支援員が、福祉サービスを利用する支援を行いました。また、愛知県社会福祉協議会と連携して円滑に自立支援サービスを提供しました。

◆契約者数 18人 ◆生活支援員数 2人

令和4年度

契約者数 11人 生活支援員数 2人

④法人後見業務「サポートあま」（成年後見制度）

法人後見業務では、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって、判

断能力が不十分になり、自分一人では契約や財産の管理などを行うことが難しい方が、住み慣れたあま市（地域）で安心して暮らせるように成年後見制度の活用をお手伝いしました。また、地域のセーフティネットとしての役割のほか、将来的な観点として後見業務への市民参加の場づくりや中核機関であるあま市権利擁護センターとの連携・協働を図り、長期にわたり地域福祉の推進を担ってきた社協が「第三者後見人」として実施しています。その他、法人後見業務啓発活動として、講演会を実施しました。

○受任件数 2件

◆後見類型「後見：1件 保佐：1件 補助：0件」

○啓発講演会

◆期 日 2月3日（土） 午後2時

◆場 所 七宝焼アートヴィレッジ 交流ホール

◆講 師 いのくちファミリークリニック 院長 遠藤 英俊 氏

◆参加者数 123人

## (12) 貸付事業

### ①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等に対して、低利息または無利子で資金貸付と民生委員等による必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加の促進を図りました。

◆新規利用件数	5件（福祉資金）	相談数	82件
	1件（教育支援資金）	相談数	14件
	0件（総合支援資金）	相談数	6件
	0件（不動産担保型生活資金）	相談数	2件

令和4年度

新規利用件数	3件（教育支援資金）	相談数	9件
	80件（緊急小口資金）	相談数	82件
	42件（総合支援資金）	相談数	43件

### ②くらし資金貸付事業

生活の不安定な低所得世帯に対して生活を保全し、経済的自立を助長しましたが、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を優先利用して活用いただいたため、実績はありませんでした。

◆新規利用件数 0件

令和4年度

新規利用件数 0件

### ③市つなぎ資金貸付事業

市内に居住する生活保護申請者及び被保護者に対して保護費支給までに、必要なつなぎ資金及び不時の出費の為に必要な資金を無利子で貸付

けました。

◆新規利用件数 19件  
令和4年度  
新規利用件数 23件